

2024年度 事業計画 (案)

公民館運営委員会資料

変えよう、小松町内会！！未来の為に！！

全住民参加型の運営／持続可能な地域社会の実現

小松一二三丁目町会 役員会

V1.0

2024年1月14日

はじめに

近年の様々な環境の変化（少子高齢化の急速な進行や近年の大規模災害の頻発、地球温暖化から沸騰の時代、更に新型コロナ等の未知の疾病への対応 等々）が私たちの生活に大きな変化をもたらし、その影響から逃れることの出来ない時代になってきていることは、皆さん自身も肌身に感じていることではないでしょうか。

その様々な変化と、この「小松町内会の活動」も無縁ではありません。少子高齢化の進行／価値観の多様化等々の影響が、この「町内会活動」にも大きな変化をもたらしました。組織率の低下／担い手不足／活動の住民ニーズからの乖離等々様々な問題が起こっています。その詳細は別紙参考資料にて詳細に分析しあるべき姿を模索していますのでご一読いただければと思います。

このような状況を踏まえ、「小松町内会2024年度事業計画」を策定しました。2024年度のテーマとしては、従来型の活動の「深耕」と同時に「2つのポイント」を掲げました。そのポイントは以下の2点になります。

- ①組織体制の強化
- ②町会活動参加者のすそ野を広げるための活動

このポイントは、ここ数年の活動のポイントでもありましたが、今年度は更に強化して取り組むべき喫緊の課題であると考えました。「持続可能な、真に町民の為の町内活動」を行うためには、幅広い皆さまのご協力が不可欠です。

その趣旨をご理解頂き、皆さままでご検討頂ければ幸いです。

目次

2023年度の振り返り

2024年度の事業計画概要

2024年度事業：2つのポイント

2024年度事業計画

2024年度行事計画

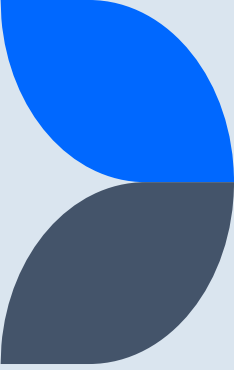
2024年度行事予定表

2023年度の振り返り

- 従来型活動に関しては、ほぼ予定通りの活動が行えた
- しかし、新規に取り組むべき「周知への新規活動」が行えなかった
- 各行事予定の周知が不十分であり、各団体との連携が不十分であった
- 町内会行事への「新規の参加者（特に子育て世代）」が増えなかった
- 組織の変革に取り組めなかった

2024年度の事業計画概要

- 2023年度活動の継承と進化（深化）
- 組織体制の強化
- 町会活動参加者のすそ野を広げるための活動



2024年度事業：2つのポイント

①組織体制の強化

1. 役員公募制度の導入
2. パートタイム役員の創設
3. 事業別責任組織制度創設
4. 協力団体との連携強化

②町会活動参加者のすそ野を広げるための活動

1. ITを活用した情報発信方法の活用
2. 集合住宅居住者の町会活動参加の促進
3. 新規入会者への「町会の手引き」の配布

2024年度事業計画

	事業	変更・検討点
1	役員会の運営	回数／時期／出席者
2	組織体制強化	役員数／公募／役員の種類
3	参加者増への取組	協力団体との連携
4	乳幼児家庭への対応	取り残さない全世帯の参加へ
5	小松お助け隊の創設	災害時の連絡体制について（別紙資料①）
6	災害時一時避難所	高齢者の避難所への移動を中心に
7	こども広場の開設	町会行事参加者の増へ、3世代交流（別紙資料②）
8	小松を語ろう会	参加者増と次期役員候補の発掘（別紙資料③）
9	小松坂下バンクシー化	町内美化の促進と町内会活動の周知（別紙資料④）
10	町内の空き家の把握	安全・安心対策と活用方法の検討

2024年度行事計画①

	行事	日程	変更・検討点	主管（共催）
1	各種防犯パトロール等			安全部
2	町内美化運動	5/28		環境部
3	花いっぱい運動 春	5/28		環境部
4	町内一斉清掃	6/30		環境部
5	夏祭り	7/13,14		健康福祉部
6	霞ヶ浦一斉清掃	7/26		環境部
7	千鳥ヶ池公園清掃	7/26	(7,8,9月)	環境部
8	キララまつり	8/4		健康福祉部
9	盆踊り	8/17		健康福祉部
10	市民体育祭	10/6		健康福祉部

2024年度行事計画②

	行事	日程	変更・検討点	主管（共催）
1	秋祭り	10/14		健康福祉部
2	四中地区公民館祭り	10/27		健康福祉部
3	防災訓練	11/10		安全部
4	花いっぱい運動 秋	11/17		環境部
5	餅つき大会	12/8		健康福祉部
6	幹事 新春顔合わせ	1/19		役員会
7	公民館運営委員会	2/9		広報公聴部

MEMO

MEMO

最後に

2024年度事業計画には「まだまだ本の思い付き程度」の域を出ないものもあります。また、「どこまで町内会が関わるべきなのか」といった問題もあります。

しかし、「先ず、取り掛かること」から始めていきたいと思います。すぐには実現しなくても「将来の為に行うべきもの、その責任」が今の私たちにあることも間違いありません。

例えば、「千鳥ヶ池の環境整備」についても長年の懸案だったものが少しずつ動き始めました。これも周辺住民や農家組合の方々を含め、町会が行政との橋渡しとなり、地元選出議員の仲介での「市長直接要望」の結果、改善の方向に動き始めています。

すべてのことを一度に解決することは難しくとも、少しでも多くの方の知恵をお借りしながら、一步ずつ前進することが出来ればと思っています。その為にも「町内会」としての組織的な活動が重要であると考えます。

是非、皆さまのお力をお借りしながら進めていきたいと思います。趣旨ご理解の上、ご協力をお願いいたします。

敬具